

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 8 月 11 日 (2005.8.11)

【公表番号】特表 2001-524845 (P2001-524845A)

【公表日】平成 13 年 12 月 4 日 (2001.12.4)

【出願番号】特願 平 10-527043

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 C 3/02

【F I】

A 6 1 C 3/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 11 月 25 日 (2004.11.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成16年11月25日

特許庁長官殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第527043号



2. 補正をする者

名称 サン・ディエゴ・スイス・マシーニング・インコーポレ
イテッド

3. 代理人

住所 〒530-0054
大阪府大阪市北区南森町2丁目1番29号
三井住友銀行南森町ビル
深見特許事務所
電話06-6361-2021(代)
FAX 06-6361-1731

氏名 弁理士 (6474) 深見 久郎



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

- (1) 請求の範囲を別紙のとおり補正する。

以上

請求の範囲

1. 超音波振動子とともに使用する歯科用ツールであって、

超音波振動子に装着するための手段を備えた基端を有する主軸によって規定される実質上細長いツールと、歯科処置を行なうために構成されたチップを有する末端とを含み、

前記末端は前記チップから前記基端へ内側に向かう真っ直ぐな円筒状の壁部分を有する、歯科用ツール。

2. 前記主軸が前記円筒状の壁と前記基端との間にコントラアングルを有する、請求項1に記載のツール。

3. 前記主軸が前記円筒状の壁から前記コントラアングルへと先細になる、請求項2に記載のツール。

4. 前記末端が先のとがったチップで形成され、外表面に塗布された窒化金属コーティングが約0.0002インチの平均厚さを有する、請求項2に記載のツール。

5. 前記末端が凹チップで形成され、窒化金属の金属部材がチタン (Ti) およびジルコニウム (Zr) からなる群から選択される、請求項2に記載のツール。

6. 前記円筒状の部分が約10から約20ミリメートルの長さであり、窒化金属が窒化チタン (Ti-N) である、請求項2に記載のツール。

7. 前記末端が先のとがったチップで形成され、ツールの外表面が約2800ピッカースの表面硬度を有する、請求項6に記載のツール。

8. 前記円筒状の部分が約10から約20ミリメートルの長さであり、窒化金属が窒化ジルコニウム (Zr-N) である、請求項1に記載のツール。

9. 器具がステンレス鋼からなる器具である、請求項6に記載のツール。

10. 器具が、窒化金属コーティングを塗布する前に約40から42のロックウェルC硬度まで熱処理される、請求項9に記載のツール。

11. 前記末端が凹チップで形成される、請求項8または請求項10に記載のツール。

12. 根管処置のための超音波振動子において使用される超音波歯科用ツールであって、

基端および末端を有する主軸によって規定される細長いツールを含み、前記基端上には超音波振動子に装着するためのねじ込み接続部材を含み、前記末端上には歯科処置を行なうために構成されたチップを含み、前記主軸は、前記末端に前記チップから前記基端へ内側に向かう均一な直径の真っ直ぐな円筒状の部分と、前記基端に前記接続部材に隣接する実質上均一な直径のコントラアングル部分と、末端の前記円筒部分と基端の前記コントラアングルとの中間に均一な徐々に先細になる部分とを有する、超音波歯科用ツール。

13. コントラアングル部分が約 15° の角度で前記軸から第1の方向へ外側にカーブし、さらに前記軸に対して約 45° で前記軸を超えて第2の方向へ外側にカーブする、請求項12に記載のツール。

14. 前記末端が先のとがったチップで形成される、請求項1、請求項10、または請求項13に記載のツール。

15. 前記円筒部分が約10から約20ミリメートルの長さである、請求項14に記載のツール。

16. 根管処置のために超音波振動子において使用される超音波歯科用ツールであって、

基端および末端を有する細長い主軸によって規定される細長いツールを含み、前記基端上には超音波振動子に装着するためのねじ式コネクタを含み、前記末端上には直径が均一でかつ前記チップから前記基端へ内側に向かう約5mmから約12mmの長さの細長い真っ直ぐな円筒部分を含み、前記ツールはさらに、約 15° の角度で前記軸から第1の方向に外側にカーブしさらに前記軸に対して約 45° で前記軸を超えて第2の方向に外側にカーブする、前記基端に前記ねじ式コネクタに隣接する実質上均一な直径の細長いコントラアングル部分と、前記末端に前記円筒部分と前記基端の前記コントラアングル部分との中間の均一な徐々に先細になる部分とを含む、超音波歯科用ツール。